

○大学の道は明德を明らかにするに在り、

民を新たにするに在り、（新Ⅱ親）

至善に止まるに在り。

止まるを知りて而る後に定まる有り、

定まりて而る後に能く静かなり、

静かなりて而る後に能く安らかなり、

安らかなりて而る後に能く慮る、

慮りて而る後に能く得る。

物に本末有り、事に終始有り、

先後する所を知れば、則ち道に近し。

【大学】曾子（儒教）

○苟に日に新た、日に新たに、又日に新たなり。

《湯王の盤銘（洗面器・浴槽等）に彫りつけた言葉》

【大学】曾子（儒教）

○たとえば赤子を保つが如く、

心誠に之を求むれば、中らずと雖も遠からず。

【大学】曾子（儒教）